

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公表番号】特表 2017-505854 (P2017-505854A)

【公表日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2017-008

【出願番号】特願 2016-552266 (P2016-552266)

【国際特許分類】

C 1 1 D 7/32 (2006.01)

C 1 1 D 7/22 (2006.01)

C 1 1 D 7/38 (2006.01)

C 1 1 D 17/06 (2006.01)

C 1 1 D 7/54 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 7/32

C 1 1 D 7/22

C 1 1 D 7/38

C 1 1 D 17/06

C 1 1 D 7/54

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 80 ~ 99 質量%の範囲の、メチルグリシン二酢酸 (MGDA)、及びそのアルカリ金属塩から選択された少なくとも 1 種のキレート剤、並びに、

(B) 1 ~ 20 質量%の範囲の、アルカリにより部分的に又は完全に中和された、少なくとも 1 種の (メタ) アクリル酸の単独重合体又は共重合体、

を含み、単独重合体又は共重合体 (B) が、1200 ~ 30000 g / mol の範囲の、それぞれの遊離酸を標準としたゲル浸透クロマトグラフィーにより測定された平均分子量  $M_w$  を有する、i) 粉末又は ii) 顆粒の製造方法 (ここで、パーセンテージが、前記粉末又は前記顆粒の固形分に対するものである) であって、

前記方法が、

(a) 水の存在下で前記少なくとも 1 種のキレート剤 (A) 及び前記少なくとも 1 種の単独重合体又は共重合体 (B) を混合し、溶液を形成する工程と、

(b) 少なくとも 125 の注入温度を有するガスを用いる噴霧乾燥又は噴霧造粒により前記水の大部分を除去する工程と、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

キレート剤 (A) が、MGDA の三ナトリウム塩である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記単独重合体又は共重合体 (B) がポリアクリル酸の過ナトリウム塩から選択される請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記単独重合体又は共重合体（Ｂ）が、（メタ）アクリル酸と、１分子当たり少なくとも１つのスルホン酸基を持つモノマーとの共重合体から選択される請求項１から３のいずれか一項に記載の方法。

【請求項５】

粉末又は顆粒であって、

（Ａ）８０～９９質量％の範囲の、メチルグリシン二酢酸（ＭＧＤＡ）及びそのアルカリ金属塩から選択された少なくとも１種のキレート剤、並びに、

（Ｂ）１～２０質量％の範囲の、アルカリにより部分的に又は完全に中和された、少なくとも１種の（メタ）アクリル酸の単独重合体又は共重合体、該単独重合体又は共重合体が、１２００～３０００ｇ／ｍｏｌの範囲の、それぞれの遊離酸を標準としたゲル浸透クロマトグラフィーにより測定された平均分子量 $M_w$ を有し、

（パーセンテージが前記粉末又は顆粒の固形分に対するものである）

を分子的分散形態で含むことを特徴とする粉末又は顆粒。

【請求項６】

１～２０質量％の範囲の残留水分含有量を有する請求項５に記載の粉末又は顆粒。

【請求項７】

１μｍから０．１ｍｍ未満の範囲の平均粒子直径を有する粉末から、及び、０．１ｍｍ～２ｍｍの範囲の平均粒子直径を有する顆粒からの平均直径を有する請求項５又は６に記載の粉末又は顆粒。

【請求項８】

キレート剤（Ａ）が、ＭＧＤＡの三ナトリウム塩である請求項５から７のいずれか一項に記載の粉末又は顆粒。

【請求項９】

前記単独重合体又は共重合体（Ｂ）がポリアクリル酸の過ナトリウム塩から選択される請求項５から８のいずれか一項に記載の粉末又は顆粒。

【請求項１０】

前記単独重合体又は共重合体（Ｂ）が、（メタ）アクリル酸と、１分子当たり少なくとも１つのスルホン酸基を持つモノマーとの共重合体から選択される請求項５から９のいずれか一項に記載の粉末又は顆粒。

【請求項１１】

請求項５から１０のいずれか一項に記載の粉末又は顆粒を繊維又は硬質表面用の洗浄剤の製造に使用する方法であって、前記洗浄剤が少なくとも１種のペルオキシ化合物を含むことを特徴とする使用方法。

【請求項１２】

少なくとも１種のペルオキシ化合物が、過炭酸塩、過硫酸塩及び過ホウ酸塩から選択される請求項１１に記載の使用方法。

【請求項１３】

少なくとも１種のペルオキシ化合物、及び、少なくとも１種の、請求項５から１０のいずれか一項に記載の粉末又は顆粒を含む洗浄剤。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００７１

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００７１】

この明細書において、「分子的分散の形態で」という用語は、本発明の粉末及び本発明の顆粒の粒子の全部または大部分、例えば少なくとも８０％は、キレート剤（Ａ）及び重合体（Ｂ）を含むという構成をもたらす。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 7 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 7 5 】

本発明の一実施態様において、「分子的分散の形態で」という用語は、基本的には本発明の粉末及び本発明の顆粒の全ての粒子が 8 0 ～ 9 9 質量 % のキレート剤 ( A ) 及び 1 ～ 2 0 質量 % の単独重合体又は共重合体 ( B ) を含むという構成をも、もたらし、ここで、前記パーセンテージがそれぞれに粉末又は顆粒の固形分に対するものである。